

# —学校教育目標—

- 進んで学び、よく考え創造性豊かな子どもの育成【考える子】
- 明るく素直で心豊かな子どもの育成【明るい子】
- 粘り強く努力する心身ともに強健な子どもの育成【強い子】
- 相手の気持ちを理解し、互いを尊重し協力し合う子どもの育成【助け合う子】

令和6年度 学校経営の重点

**つながりを広げ  
自分を耕す  
瞳輝く栄西**

## つながりを広げ

- 対象や他者を尊重し、興味・関心をよせ、そのよさや美しさを感じ、認める
- 新たな対象や他者とつながり、よく聴き、よく考え、よく伝え合おうとする
- 礼儀を大切にし、ルールやマナーを守り、社会や生活の変化に適應できる

## 自分を耕す

- 課題に粘強く主体的に取組み(≒読解)、分かる・できる自信(≒理解)を培う
- 既習経験を活かしたり、比較したり関連づけたり思考の“術”を身に付ける
- 対象に耳目を傾け自他と対話を重ね、思いや考えをつなげて文章、絵図で豊かに表現する(話す・かく・伝わる)

## 瞳輝く栄西

- 見通し・行動・振り返りを繰返し自分の伸びやよさを感じて自己肯定感を高める
- 相手意識や役割意識をもって気持ちを伝えたり、意見などを交わす経験を重ねながら、相手のよさに共感したり、思いやりのある行動をしたりできる
- 学んだ経験を活かして、よりよく生きる意思をもち、地域や社会とつながる



校章の全体の形は、清純な雪の結晶で北国北海道を、周囲三本の線は創成川で、札幌市と本校下をあらわし、厳しい寒さに耐え、この地を切り開いた先人の開拓の精神に学び、強い意志で主体的に生きることを意味している。

校名の台は、希望をあらわす星で、その先端が外へ向かっての伸びは、止むことのない発展を願っての創造的な生き方を示し、また、まわりの部分は、本校開校年度に冬季プレオリンピックが開催されたことにちなんで五輪をかたどり、健全な精神と体を養い、さらに世界にまで広がる人間愛に支えられる豊かな人格の完成をあらわしている。

デザイン 田部 隼夫 氏